平成30年（2018年）1月1日号
No.222

ねやがわ 議会だより

議長 北川 健治

副議長 池添 義春

新年のごあいさつ

新年、あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会の活動に温かい御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

振り返りますと、昨年は、将棋界最多の29連勝を達成した最年少プロ棋士の藤井聡太四段の活躍や、陸上男子100メートルにおいて桐生祥秀選手が日本選手で初めて9秒台を記録する等、若い人達の躍進が目立った一年でありました。また、大相撲では、本市ふるさと大使の豪栄道関が惜しくも優勝を逃したものの、本市出身の宇良関との同郷対戦では、市役所でのパブリックビューイングに多くの市民の皆様が参加され大いに盛り上がりました。

さて、人口減少や少子高齢化の進展などにより、地方自治体を取り巻く環境が年々変化する中、地方自治体は、自らの判断と創意工夫により、地域の実情に即した施策を主体的に推進する必要があります。

市議会といたしましても、議事機関としての役割を果たすべく、市が平成31年4月に目指している中核市移行においては特別委員会を設置し、調査協議を行っている他、通年議会や一般質問における一問一答方式の導入についての調査研究、さらには、次の選挙から議員定数を現行の27人を24人に3人削減することが決まっておりますが、引き続き、議員報酬、議員定数及び政務活動費の在り方についての検討を行うため、学識経験者等への調査依頼を実施する等、議会改革・議会の活性化にも取り組んでいるところでございます。

今後とも、皆様方の負託に応えるべく、市政の様々な課題に対し、行政と共に真摯に取り組む所存でございますので、一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様方にとりまして、実り多き一年となりますことをお祈り申し上げまして、新年の御挨拶といたします。

誌面のご案内

新年の抱負	1～4
決算審査のあらまし	5～6
委員会視察の報告	7

◆謹賀新年◆

市議会議員は、公職選挙法で市内での年賀状や挨拶状などを出すことが禁止されているため、本誌面をもって、新年の挨拶にかえさせていただきます。

市民の皆様の御理解をお願い申し上げます。

発行：寝屋川市議会　編集：議会広報委員会　TEL：072-824-1181（代）

新風ねやがわ議員団

市政の着実な歩みと全ての世代が安心して暮らせる政策の実現へ

新年明けましておめでとうございます。我が会派は議会の職務職責を実直に遂行し、「議論する会派」として、市民の皆様の生活（くらし）を守る政策を提言して参ります。

まちづくり整備事業及び都市計画道路の推進

東寝屋川駅前沿道地区まちづくり整備、京阪連続立体交差事業、都市計画道路対馬江大利線や東寝屋川駅前線等々将来に向けたまちづくり事業が展開されています。用地買収交渉など事業の進捗も進み本格的な事業実施時期です。供用開始時期に向け取組強化を図ることを求めます。

地域公共交通網形成計画及び持続可能なまちづくり

地域公共交通網形成計画は、平成30年度末までの完成に向けて取り組んでいます。ヒトやモノの移動をスムーズにし、充実したものとなる計画を立案すること。日常生活が便利になる環境づくりが肝要であり、地域により、まちづくりに求める課題が違うので地域のニーズをつかみ、定住性を高め、適切な人口を維持する対策を求めます。

今後の小中学校の在り方及び小中一貫校の在り方について

本市内の各小中学校において、最大規模校と最小規模校の差がいまだ著しい状態です。今後、地域の状況により児童生徒数が多くなる学校や、逆に学級を維持できないほど少なくなる学校も出てくると予想されます。将来の就学前人口の地域差を想定し検討を行うことを求めて参ります。また、小中一貫校設置実施計画中であり、学校区の在り方、公共施設等総合管理計画を勘案し、最善となる形態を検討することを要望します。

出産支援・子育て支援について

行政と医療機関、出産施設等が連携し、本市で安心して出産・産後ケアが出来る支援体制の更なる充実を求めて参ります。また、今春には、子育てリフレッシュ館がオープンします。新たな子育て支援として期待も大きく、本市の子育て施策を市内外に発信し、若者世代の定住促進に努めることを求めます。

国民健康保険財政健全化及び保険料のより一層の引下げへ

平成30年度から国民健康保険制度改革により、大阪府が財政運営の責任主体となります。平成22年度以降から保険料率の着実な引下げが実施されてきました。様々な方策を提起し、財政健全化を果たす努力が市としても必要であり、国民健康保険料の引下げを求めます。

北川　光昭
対馬江東町６番１号
☎ 838-5811

井川　晃一
成田東町６番７号
☎ 842-3500

池　真一
木田町 13 番 11 号
☎ 828-2669

金子　英生
太秦桜が丘１番 18 号
☎ 821-5774

北川　健治
仁和寺本町二丁目４番８号
☎ 827-6820

廣岡　芳樹
高宮一丁目 12 番 16 号
☎ 821-4657

森本　雄一郎
清水町 32 番 18-204 号
☎ 888-3085

山﨑　菊雄
若葉町 34 番 10 号
☎ 829-1900

公明党市会議員団

日ごとに実感 いいまち寝屋川へ

明けましておめでとうございます。本年も「生活者目線」の政策・改革の実現に向け、全力で取り組んで参ります。

子どもを守る

○特別教室・体育館のエアコン設置
○子ども用補聴器購入費用等の助成
○児童用タブレットパソコンの更新
○災害時ボランティア教育の実施
○社会的養護体制の推進（施設から家庭的養育環境へ）
○安全教育（SPSセーフティプロモーションスクール認証）の推進
○マタニティブックスタート事業の実施
○幼児教育の無償化拡充

街を守る

○市民会館小ホールの椅子の入替え
○路面標示の計画的な更新を図る
○寝屋川市駅周辺の抜本的な交通安全対策を講じること
○市道の路面下空洞調査の実施
○UIJターン施策・定住促進策の推進
○交通不便地域の解消（デマンド交通システムの早期導入等）
○婚活支援事業の導入

くらしを守る

○要介護者社会参画システムの導入
○期日前投票所の増設（4駅周辺）
○介護保険料の負担軽減
○高齢者交通系ICカード補助事業の継続実施（年2回）
○フードドライブ事業の導入
○シルバー人材センターへの委託事業の拡充
○家政士資格の登録（要支援現場への介護人材不足を軽減）

命を守る

○胃がん予防対策としてピロリ菌検査の実施（中学生対象）
○学校常備のAEDの屋外設置
○口腔ケアの有効性の周知・啓発
○個人向けドライブレコーダーの設置補助
○咽頭摘出後の人工鼻購入補助制度の導入
○家庭防災用品購入補助事業の継続

今後の財政運営について

○公有財産の利活用（市庁舎の在り方等）についての検討
など100項目を予算要望しました。

野々下　重夫
豊野町 15 番 33 号
☎ 823-5988

池添　義春
高柳五丁目 3 番 1 号
☎ 839-4171

岡　由美
田井町 33 番 33 号
☎ 831-8700

梶本　孝志
打上高塚町 1 番 3-128 号
☎ 825-2190

住田　利博
仁和寺本町四丁目 10 番 22 号
☎ 828-5422

髙見　雄介
上神田一丁目 44 番 27 号
☎ 828-0814

村上　順一
南水苑町 5 番 12 号
☎ 811-0205

日本共産党市会議員団

「暮らしやすさ」を より実感できる市政へ

新年おめでとうございます。

昨年度は、浸水対策や防犯・防災対策を始め、国民健康保険料の引下げ、待機児童ＺＥＲＯプラン、まちづくり施策など「市民のくらし」を守る施策が進みました。

ごみ減量については、様々な取組を通して、市民と行政の更なる協力が求められています。

今後は、中核市移行を見据えた計画的な職員採用と適正配置を求めるとともに、小中一貫校の設置などの課題についても、市民の立場で議論してまいります。

日本共産党市会議員団は、市民福祉のより一層の向上を目指し、誰もが安心して住み続けられる寝屋川市へ、力を尽くす決意です。

本年もよろしくお願いいたします。

市民の願い実現へ

◎国民健康保険料の引下げ
◎介護保険料は抑制し保険料・利用料の減免制度の創設
◎学童保育の土曜開所は子どもの安全確保のためにも全小学校で
◎保育所の３歳児以上の完全給食
◎中学校給食をおいしく改善
◎本市の実情に合った子どもの貧困実態調査の実施
◎保育・幼稚園保育料の段階的無償化
◎第３子以降の学校給食の無償化
◎公共施設や駅等の受動喫煙対策
◎「ごみ減量プロジェクト」を推進し、ごみ減量目標の達成を
◎災害時要支援者保護体制の早期確立
◎きめ細かい公共交通網の整備

太田　徹
高柳二丁目 49 番 2 号
☎ 080-3818-9722

石本　絵梨菜
太秦元町 9 番 2 号
☎ 090-8937-1934

中林　和江
宝町 4 番 33 号
☎ 090-3944-8385

西田　昌美
石津中町 30 番 3 号
☎ 090-9713-3588

前川　奈緒
萱島東二丁目 16 番 11 号
☎ 090-1025-7503

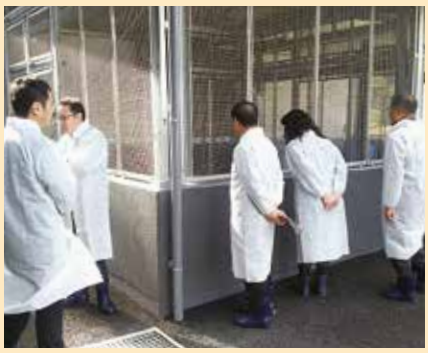
◆ タブレット端末　研修会 ◆

市議会では、ペーパーレス化と議会運営の効率化を図るため、タブレット端末の導入に向けた検討を行っており、10月26日にタブレット端末操作研修会を行いました。

中核市移行調査特別委員会　活動報告

寝屋川市は、中核市への移行に向けた取組を進めています。

市議会では、中核市移行調査特別委員会を設置し、これまで、市財政への影響、保健所設置に関する諸課題や「市中核市移行基本方針（素案）」等について、調査検討を行ってきました。12月１日には、大阪府動物愛護管理センターを視察し、中核市に移行した場合に大阪府から移譲される、動物の愛護及び管理に関する事務や課題について調査しました。



大阪維新の会議員団

謹んで新年のお祝いを申し上げます

旧年中は、私どもの会派活動に格別の御理解をいただきましてありがとうございました。市は31年4月の中核市移行を目指しており、それに伴い職員の育成や組織の体制整備がより具体的に進んで参ります。今後も引き続き、健全で持続可能な寝屋川市の構築に取り組んで参ります。

今年も大阪維新の会議員団は、寝屋川市を選ばれる街、住み続けたい街にするため、行政と共に様々な政策を提言し、実行して参りますので、一層の御指導ごべんたつを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

市民の声を市政へ（一部抜粋）

○総人件費の抑制とともに仕事量の削減について取り組むこと

○市の全ての業務を見直し、削減できるものを抽出すること。また窓口業務については独立行政法人の活用も含め検討すること

○総合センターと市役所間のシャトルバス運行において、休日、祝日の臨時便の運航を検討すること

○スポーツ施設の充実、既存施設の利用促進を図ること

○高齢者福祉の充実、総合的一体型地域包括ケアシステムを構築すること

○期日前投票所を整備、拡充し、投票率向上に努めること

中川　健

三井が丘一丁目４番8-206号
☎ 080-5305-3479

坂光　勇哉

池田旭町 24 番 7-205 号
☎ 080-3111-0635

杉本　健太

香里新町 12 番３号
☎ 080-1468-7842

元橋　理浩

中神田町９番 11 号
☎ 090-3350-7015

新生ねやがわクラブ議員団

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

旧年中は、私ども会派の活動に対し、御理解御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今の私たちは、少子高齢化、人口減少、家族形態の変化、情報技術革新など、過去の経験則では対応できない時代を歩んでいます。

本年も次のような理念を持って、次代を切り拓いてまいります。

①既成概念に捉われない大胆な発想

②将来を見通した大局観に基づく視点

③地域資源の最大活用を図る柔軟な発想

④データに基づく客観性の積極的導入

これからの時代、市の政策と相まった、市民一人一人の自治意識、政策提言力、実行力が必要と考えており、本年もより一層の御指導ごべんたつを賜りますようお願い申し上げます。

松本　順一

黒原橋町７番 12 号
☎ 828-2792

馬場　才

美井元町 15 番 11 号
☎ 837-7222

板東　敬治

大利元町 16 番７号
☎ 826-6822

決算審査のあらまし

９月定例会で継続審査となりました平成 28 年度会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を 10 月 10 日から 13 日の４日間にわたり開催しました。その質疑応答の一部要旨を掲載します。

財政運営について

問　平成28年度決算の実質収支比率は更に向上したが、その所感は。

答　将来につながる施策・事業の着実な推進を図ることはもちろん、行財政の持続可能性の向上を一つのテーマとして、28年度だけでなく、将来をも見据えた財政基盤の強化に努めてきた。

定員適正化計画における効果額

問　定員適正化計画におけるこれまでの効果額と今後の展望は。

答　第1期定員適正化計画の初年度である平成12年度の人件費をベースにすると、平成28年度までの16年間における各年度の人件費削減額の平均は年67億円程度である。今後、第6期定員適正化計画に基づき、総人件費の上限を踏まえる中で、定員の適正化を図っていく。

事業の選択と集中

問　事業の選択と集中の取組内容とは。

答　サマーレビュー（事業の見直し）等の取組を行い、多子世帯等への保育料支援や少人数学級の推進などの子育て・教育施策や全小学校への避難所開設運営物品の配備や深夜防犯パトロールの実施などの安全・安心の取組等を重点施策として行った。一方、自主防災協議会活動支援補助事業や高齢者バスカード購入補助事業の廃止・見直しなどを行った。

行財政改革の内容と結果

問　平成28年度の行財政改革の取組内容と効果額は。

答　教育センター用地等の売却などによる効果額が約２億８４００万円、職員数の削減等による効果額が約２億５１００万円、合計約５億３５００万円。

サクラ☆プロジェクト

問　サクラ☆プロジェクトの狙いと効果は。

答　寝屋川市の地域資源である桜をアピールし、本市のイメージアップを図るために行ったものであり、ライトアップ期間（13日間）に約３万５０００人が来場し、開発した桜スイーツも２か月で約１万８０００個の売上げがあったことなどから一定の効果があったと認識している。

サクラ☆プロジェクト（ライトアップ）

中核市移行に向けた取組

問　平成28年度の取組の成果は。

答　大阪府との連携・協議の下、中核市事務の調査・研究、対応検討を全庁で進め、必要な人員や体制、財政影響等を踏まえた市の考え方や方向性の基礎づくりができた。

広報誌のリニューアル

問　リニューアル実施後に市民から寄せられた声に対する所感は。

答　フルカラーで見やすくなった、冊子になって保存しやすくなったという意見がある一方で、情報量が多い、編集の統一感がないといった意見もある。引き続き、市民ニーズを把握し、読んでもらえる広報誌にしていく。

コンビニへのＡＥＤ設置

問　コンビニにＡＥＤを設置していることを市民に認識してもらうことが大切だと考える。周知に関する見解は。

答　平成28年度に市内60店舗に設置しており、コンビニにはシールを添付している。今後も引き続き、広報誌やホームページ等で周知啓発を行う。

赤ちゃん用防災グッズの配布

問　平成28年度に１５８２セット配布したが、市民からの反応は。

答　防災についての再認識を持ったなど大変好評であり、グッズの内容

についても市民の声を参考に更に検討していく。

地域就労支援センターの移転

問　地域就労支援センターをねやがわシティ・ステーションに移転したことによる効果は。

答　寝屋川市駅の駅下にあるため、立地面では利用しやすい状況になったと認識している。引き続き周知に努める。

子ども医療助成制度

問　本制度に係る財政的な推移と成果は。

答　平成26年度が4億9090万円であり、平成27年7月に対象年齢を18歳までに拡充し、平成27年度が6億1017万円、平成28年度が7億1388万円である。市民の経済的負担の軽減と病気の早期発見、早期治療を目的としており、子どもの時から病気に対する意識を持ってもらい、長期的な観点から医療費の抑制につながるものと考える。

いじめ防止対策「いじめのサイン」

問　サイト開設の目的と関係機関との連携は。

答　サイト内で気軽にチェックし、いじめの兆候に気付いてもらうこと、相談につなげることを目的としており、平成28年度は26件のいじめの相談があった。また、急を要する事案が発生した場合は教育委員会と連携し、迅速な対応に努めていく。

待機児童ZEROプランのPR

問　平成28年度の成果と今後の取組は。

答　保育士を確保するため、デジタルサイネージ（電子看板）等を活用し、PRを行った結果、平成29年度当初に必要人数の配置ができ、児童の受入れもスムーズにできた。今後も引き続き、保育士の確保に効果的なPR方法を検討していく。

放置自転車対策

問　放置自転車対策の取組内容と市が考える目標は。

答　寝屋川市駅周辺が非常に多いため重点的に土日も啓発活動を行い、年々撤去自転車数は減少している。市としては、放置自転車をなくすように取り組んでいる。

京阪本線連続立体交差事業

問　平成28年度の工事の進捗状況及び予定しているスケジュールに対して遅れなどはないか。

答　平成28年度は、主に用地買収を進め、必要な用地の約31％の取得が完了した。工事に必要な箇所を優先的に買収し、平成31年度以降は、工事に並行して用地取得を行っていく。スケジュールはおおむね順調である。

中学校休業日等学習支援事業

問　学習支援事業に対する生徒や保護者からの声は。また、取組の成果は。

答　生徒からは家庭学習の時間が増えたこと、授業内容が以前よりも分かるようになったことなどを聞いている。保護者からも、自主的に勉強することが増えたことなどを聞いており、家庭学習の習慣づくりにおいて大きな役割を果たしたものと考える。

留守家庭児童会

問　第五小学校にプレハブ校舎を建設した経緯は。

答　以前はグラウンドと、道路を挟んだ普通教室を使用して実施していた。児童の安全・安心の面からも一体的に取り組むべきものとして、28年度補正予算を措置させていただき建設した。

問　他の留守家庭児童会の現状は。

答　学校の余裕教室等の状況によっては上下階に分離している児童会もあるが、指導員を適正に配置し、支障がないように努めている。

平成28年度決算の概要　（単位：千円）

区分 / 会計		歳入A	歳出B	差引（C）A－B	繰越額D	実質収支 C－D
一般会計		88,140,414	86,596,193	1,544,221	6,691	1,537,530
特別会計	国民健康保険	33,351,049	32,529,682	821,367	0	821,367
	介護保険	18,877,300	18,372,041	505,259	0	505,259
	後期高齢者医療	3,072,916	2,921,466	151,450	0	151,450
	公共用地先行取得事業	121,368	121,368	0	0	0
合計		143,563,047	140,540,750	3,022,297	6,691	3,015,606

△はマイナス、消費税込（単位：千円）

水道事業会計	収益的収入額	4,243,427	資本的収入額	450,566
	収益的支出額	4,029,255	資本的支出額	1,159,425
	差引額	214,172	差引額	△708,859
	税抜処理後純利益	168,762		
下水道事業会計	収益的収入額	6,093,029	資本的収入額	3,059,861
	収益的支出額	5,723,631	資本的支出額	4,952,737
	差引額	369,398	差引額	△1,892,876
	税抜処理後純利益	369,302		

総務常任委員会

総務常任委員会では、11月1日・2日に富山県氷見市と石川県かほく市を視察しました。

氷見市では、新市庁舎について、かほく市では、定住促進の取組について、事業の経緯や取組の実績、施設の維持管理などの説明を受け、質疑応答を行いました。

氷見市庁舎において

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会では、11月9日・10日に神奈川県の鎌倉市と大和市を視察しました。

鎌倉市では、空家等対策計画について、大和市では、総合交通施策について、取組の成果や課題などの説明を受け、質疑応答を行いました。また、鎌倉市では現地を視察しました。

鎌倉市内の空家の現状を視察

委員会視察の報告

厚生常任委員会

厚生常任委員会では、10月18日・19日に東京都の杉並区と日野市を視察しました。

杉並区では、ごみ減量の取組について、日野市では、引き籠もり対策支援事業について、事業の概要や取組状況、課題などの説明を受け、関係機関との連携や周知方法等の質疑応答を行いました。

日野市役所において

文教常任委員会

文教常任委員会では、10月24日・25日に佐賀県の武雄市と多久市を視察しました。

武雄市では、アクティブラーニングやプログラミング教育について、多久市では、小中一貫教育について、取組状況や課題などの説明を受け、また、義務教育学校を視察しました。

多久市立東原庠舎（とうげんしょうしゃ）中央校を訪問

議会だより印刷コスト1部2.24円（115,000部発行）